（報道発表資料）

2025 年 3 月 21 日
日本電信電話株式会社

2025 年日本国際博覧会における IOWN を活用した様々なユースケースの創出

日本電信電話株式会社（以下、NTT）は、2025 年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博）を舞台に、日本国際博覧会協会や様々な大阪・関西万博への参画団体とともに、IOWN All-Photonics Network（APN）を活用した未来のユースケースを万博会場内外に実装します。

① One World, One Planet（一般社団法人　日本国際博覧会協会）
会期中毎日（184 日間）日没後に、協会の公式催事として行われる、光と音、デジタルとフィジカルのスペクタクルショーです。IOWN を活用して 4 面 LED CUBE、壁面プロジェクションマッピング、NTT 館サイネージなどの操作を同期させる演出をサポートします。

② 超歌舞伎<CHO-KABUKI> Powered by IOWN（松竹株式会社、株式会社ドワンゴ、中華電信公司）
5 月 24 日（土）、25 日（日）の NTT デーに万博会場内大催事場（シャインハット）で上演する超歌舞伎『今昔饗宴千本桜 Expo2025 ver.』において、世界初となる国際間（日本-台湾）IOWN を活用した、日台の演者や観客が一体となる演出を実現します。

③ 1万人の第九 EXPO2025（株式会社毎日放送）
大阪・関西万博開幕日の 4 月 13 日（日）に毎日放送が主催する催事「1 万人の第九 EXPO2025」において、佐渡裕氏の指揮のもと、ウォータープラザと大屋根リング南側に並んだ1万人の合唱をひとつにまとめるサポートに IOWN を活用します。また、合唱の音声や映像を IOWN で毎日放送局舎まで届けることで、リモート環境下で制作作業を実施することができる「リモートプロダクション」を実現します。

④ 放送局向けリモート制作環境の提供（日本放送協会、朝日放送テレビ株式会社、関西テレビ放送株式会社、讀賣テレビ放送株式会社）
会期中、大阪・関西万博会場のメディアセンターとデータセンター上の制作設備を IOWN で接続し、複数の放送局が接続できるようにすることで、リモートプロダクション環境の共同利用化を実現します。

⑤ IOWN を活用したふれあう伝話（日本館、いのち動的平衡館、関西国際空港）
会期中毎日、音や映像に加え、触覚・振動を送り合うことができる「ふれあう伝話」を設置し、離れた人とハイタッチをしたり、触れ合う感覚を伝え合ったりすることができます。

（詳細は https://group.ntt/jp/newsrelease/2025/01/27/250127a.html）

⑥ 遠隔農機操作（国立大学法人北海道大学）
6 月 5 日（木）～16 日（月）にテーマウィーク“食と暮らしの未来”に出展される農林水産省のブースにおいて、EXPO メッセと北海道大学の農場を IOWN で接続し 1,200km 以上離れた農機を違和感なく遠隔操作する体験をサポートします。

⑦ ITS スマートポールを活用した自動運転（株式会社パナソニック システムネットワークス開発研究所）
舞洲万博パーク＆ライドシャトルバスの安全・円滑な自動運転を支援するため走行ルート上に設置される ITS スマートポールのセンサーデータを、IOWN で接続したネットワークサーバで処理する、モビリティ分野では全国初の試み※です。将来的な ITS スマートポールの用途拡大・導入コストの低減と、自動運転技術の普及に貢献することを目指します。
※2025 年 3 月 21 日現在、NTT 調べ

⑧ ぬくもりある触感伝送 「Remotouch」（トヨタ紡織株式会社）
NTT パビリオンの応接コーナーに遠隔からタッチセラピーが受けられるブースを設置、IOWN で接続し、遠隔地にいるセラピストの絶妙な力加減と声・表情を双方にリアルタイムで伝えるセラピーを提供します。

⑨ 遠隔接客「newme」（セブン－イレブン・ジャパン株式会社）
アバターロボット”newme”を会場内のセブン-イレブン店舗に設置し、店舗と NTT パビリオンバックヤードを IOWN 接続し、会期中毎日遠隔オペレータが接客することで、遅延のない自然な接客を実現します。

⑩ 未来型ライブビューイング（神戸ストークス、OneBrightKOBE）
GLION ARENA KOBE（2025 年 4 月開業予定）で行われる“神戸ストークス”の試合の模様を、現地と万博会場を IOWN で接続し、映像のみならず FEEL TECH を活用しアリーナの振動を共有する新しいスポーツ観戦体験を提供します。

■本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
日本電信電話株式会社
広報部門
ntt-pr@ntt.com

■本件に関するお客さまからのお問い合わせ先
日本電信電話株式会社
研究開発マーケティング本部
ntt_expo2025@ntt.com